



「スマートデバイスの導入に当たっても、PCからの接続と同様に 厳格なセキュリティを確保しなければならない」

株式会社フジタ
管理本部 情報システム部 主席コンサルタント
山口 正志 氏

クラウドサービスに対応した GléasとBIG-IP®を採用し、 セキュアなSSL-VPNを実現 スマートデバイスからの業務環境を構築

株式会社フジタでは、スマートデバイスの活用に取り出している。VPN接続を經由して業務ネットワークに接続し、社外にいても他のメンバーとの迅速な情報共有が可能になり、これまでの携帯電話での接続に比べて利便性が向上し、外出の多い営業担当者の業務効率が向上することが期待されている。安全なVPN接続を実現するために採用されているのは、JCCH・セキュリティ・ソリューション・システムズの認証局製品「プライベートCA Gléas」と、F5ネットワークスのSSL-VPN製品「BIG-IP Edge Gateway」だ。

社外での情報共有促進のため スマートデバイス活用に取り出す

フジタでは昨今、業務プロセス改革に注力しており、業務効率の向上・改善に向けた様々な取り組みを行なっている。そのひとつとして挙げられるのが、スマートデバイスを活用した社外での情報共有だ。

「これまでVPNを業務に取り入れてきましたが、

それらはPCで接続する前提の仕組みでした。ここ数年で一気に普及したスマートフォンやタブレットを使って、社外での情報共有をより手軽にできるのではないかと考えたのもと、具体的な活用方法を検討し始めました」

株式会社フジタ 管理本部 情報システム部の



株式会社フジタ
管理本部
情報システム部
主席コンサルタント
山口 正志 氏

山口 正志氏はそう言い、社内のVPNの仕組みについて紹介してくれた。建設業を営むフジタは全国に約400もの建設現場を持ち、それぞれに建設期間中のみ使われる事務所を展開している。ほとんどの拠点は、ADSL等の回線を利用したインターネットVPNで接続しているが、短期的な事務所や海外事業所は、回線敷設にかかる期間やコストが大きなハードルとなるため、各PCからSSL-VPN経由で業務ネットワークに接続していた。

「スマートデバイスの導入に当たっても、PCからの接続と同様に厳格なセキュリティを確保しなければならないと考え、仕組みや製品について検討を重ねました」

山口氏はそう語る。実現のためには、業務のために支給された端末に限定できること、万一デバイスを紛失した際に、操作ロックやデータ消去などの遠隔操作を行なえる環境などが必要とされた。これらの要件を満たす新たなVPNの仕組みづくりが始まった。

Overview

業種
建設

課題

- ・スマートデバイスを安全に活用できるネットワークの整備
- ・スマートデバイス導入による管理負荷増の抑制
- ・システムのアウトソース化によるTCOの削減

ソリューション

- ・BIG-IP Edge Gateway

メリット

- ・業務ネットワークへは電子証明書を持つ端末からのみアクセス可能
- ・構成プロファイルインポート機能により低負荷でiPhoneへの展開が可能
- ・認証局にクラウドサービスを採用することでTCOを削減

Customer Profile

株式会社フジタ

株式会社フジタは、「高」環境づくりのスローガンの下に建設技術を核として、「土地の有効活用」や「価値の高い建物」の提案、そして、「維持、解体・浄化のライフサイクル」まで、お客様の信頼に応えるトータルソリューションを提供している。建設現場は常時約400を数え、海外にも事業所や現地法人を展開するなど、その活躍フィールドは国内に留まらない。事業所間に早くからVPN環境を構築するなど、ネットワークやセキュリティの面においても先進的な取り組みを続けている。

東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目25番2号
修養団SYDビル
URL : <http://www.fujita.co.jp/>

豊富な連携実績を元に Gléas と BIG-IP Edge Gateway を採用

従来のVPN環境では、F5ネットワークスのSSL-VPN製品を利用していただいていた。これまでの利用実績などから、新たな仕組みにおいても同社のBIG-IP Edge Gatewayの採用を前提に検討が進められたと、株式会社フジタ 管理本部 情報システム部 システム管理グループの野中 光彦氏は語る。



株式会社フジタ
管理本部
情報システム部
システム管理グループ
野中 光彦氏

「BIG-IP Edge Gatewayは、幅広い認証製品との連携実績があるのが魅力でした。スマートデバイスを安全に利用するために必要な認証製品の選択に当たっても、多くの選択肢の中から選べるのではないかと期待したのです。そうした期待に加え、iPhoneやiPadといったスマートデバイスとの連携も保証されているので安心して使えます」

懸案となったのは、BIG-IP Edge Gatewayと組み合わせるスマートデバイスの認証の仕組みだった。ユーザ認証だけでは、支給された端末からの接続に限定することはできない。MACアドレスを登録することで接続可能な端末を限定する案も検討されたが、デバイス数が多い場合には現実的な手段とは言えない。そこで目



株式会社フジタ
管理本部
情報システム部
システム管理グループ
上田 三恵氏

「iPhoneやiPadといったスマートデバイスとの連携も保証されているので安心して使えます」

株式会社フジタ
管理本部 情報システム部 システム管理グループ
野中 光彦氏

をつけたのが、クライアント証明書を使ったセキュリティだったと株式会社フジタ 管理本部 情報システム部の上田 三恵氏は言う。

「電子証明書を持つ端末だけに限定すれば、他の端末からの接続を排除できます。そのために必要な認証局は、BIG-IP Edge Gatewayとの連携実績が多いこと、iPhoneなどへの証明書配布が容易なことを基準に選定しました」

そうして選ばれたのは、JCCH・セキュリティ・ソリューション・システムズのプライベートCA Gléasだった。TCO抑制などの観点からアプライアンスとしての導入ではなく、IJ社のクラウドサービスであるGIOとパッケージで提供される「Gléas on GIO」が採用されている。

PC、iPhoneの双方から安全にアクセス可能な環境を実現

GléasとBIG-IP Edge Gatewayを使った新たなVPN環境は、営業担当者など外出の多い従業員から展開を始めている。利用可能な端末は、クライアント証明書の取り扱いが容易なiPhoneに一本化。他機種への展開は順次行なわれることとなった。iPhoneから業務ネットワークの接続時には、電子証明書の有無がBIG-IP Edge Gateway

によりチェックされる。有効な電子証明書を持つ端末のみ、業務ネットワークに接続可能な仕組みだ。これらにスマートデバイス管理のためのMDM製品を組み合わせることで、接続時のセキュリティと紛失時の情報漏洩対策の両面の守りを固めている。

認証に必要なクライアント証明書およびF5ネットワークスのリモートアクセスクライアントであるBIG-IP Edge Clientの接続設定は、Gléasの構成プロファイル機能で手軽にiPhoneに配布することができるため、デバイス配布時の作業負担も少ない。実際に管理や設定を担当する上田氏はGléasの扱いやすさについて次のように感想を語った。

「証明書の配布、その後の運用などでGléasの管理画面を実際に操作してみて、とても使いやすいUIだと感じています。実際、導入時に2時間程度のレクチャーを受けただけで、基本操作を理解できました」

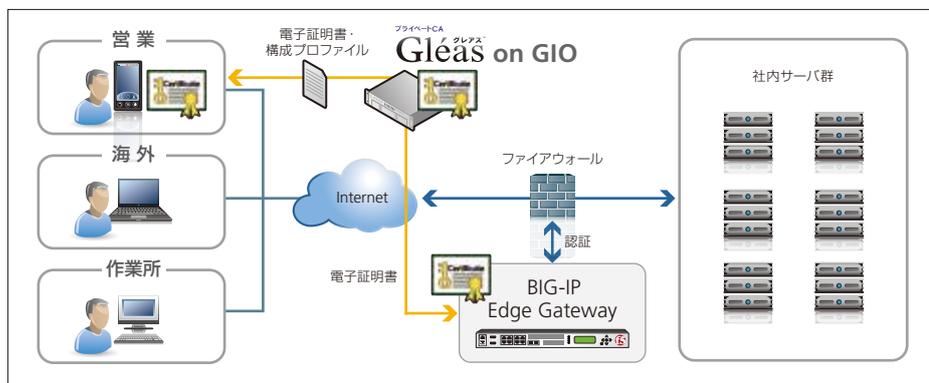
従来の環境ではアプリケーショントンネル機能を使って業務アプリケーションにアクセスしていたが、新環境ではSSLでネットワークをトンネリングさせる方式へと改められた。従業員もVPN接続に慣れているため、操作の簡易性よりも自由度を優先した結果だ。ネットワークトンネリング接続であれば、TCPアプリケーションを幅広く活用できる。またPCからの接続の際には、エンドポイントセキュリティ機能を活用して端末のセキュリティ状況をチェックするとともに支給されたPCであることを確認している。

認証局はクラウド上に設置されているため、機器の購入コストやハードウェアのメンテナンス作業は不要だ。証明書の配布や設定作業においても、クラウド上に設置されていることによるデメリットは感じられないと、山口氏は言う。

「クラウドサービスが提供されていたことも、Gléas採用の理由のひとつでしたが、期待通りの効果を感じています。今後も、コストが見合うものはクラウド化を進め、アウトソース化していきたいと思っています」

安全な接続環境が整ったことで、業務効率向上だけではなく、BCPやワークスタイル変革にもスマートデバイス活用を広げて行きたいと今後の展望について語る担当者たちの心は、すでに次の一手に向けて動き始めているようだった。

※BIG-IP Edge Gatewayは、BIG-IP APMの旧名称です。



F5ネットワークスジャパン合同会社

東京本社
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 19 階
TEL 03-5114-3210 FAX 03-5114-3201
<http://f5.com/jp>

西日本本社
〒530-0012 大阪市北区芝田 1-1-4 阪急ターミナルビル 16 階
TEL 06-7222-3731 FAX 06-7222-3838